

1章 物質の成り立ち <1 熱分解> A. 酸化銀の熱分解

めあて

【1】酸化銀の熱分解 教科書 P

* ():

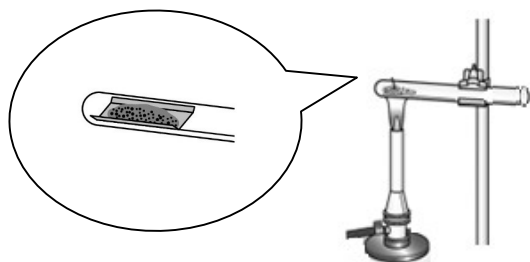
<準備するもの>

<実験方法> 教科書P

1. 図のような装置を組み立て、アルミニウムはくの皿に () を入れ、試験管中で加熱する。

*試験管を () にしてアルミニウムはくの皿を () で静かに押し込む。

試験管は () をはさむ。



2. 酸化銀の () の変化を観察する。全体の色が変わったら、 () を止める。

3. () を試験管の中に入れ、線香の火の様子の変化を観察する。

4. 試験管や物質が冷えたら、白い紙の上に () を取り出し、 () でこすり、物質の様子を観察する。

5. 結果をまとめ、加熱前の酸化銀と () の性質の違いを比べ、考察を行う。

<結果・気づいたこと>

	加熱前の物質	加熱後の物質
色		
線香のようす		
こすると		。

<考察> ～ 結果からわかること ～

1. 加熱前の物質は () 色、加熱後の物質は () 色に変化した。
2. 加熱後に発生した気体に線香の火を近づけると、 () 。
⇒ このことから、発生する気体は () であることがわかる。
3. 加熱後の物質をこすると () が見られた。⇒ これは () の特徴である。
4. 1～3より、酸化銀が加熱によって () と () になったことがわかる。

*POINT

1. 1種類の物質が2種類以上の物質に分かれる化学変化を ① () という。
2. 酸化銀が加熱によって ② () と ③ () に分かれる化学変化のように、加熱によって起こる ① () を、特に ④ () という。
3. 酸化銀の ④ () は次のように表せる。

<自己評価> 〇をつける

	よくできた	できた	まあまあできた	できなかった
1. 実験の方法について確認することができた	4	3	2	1
2. 酸化銀の分解について理解できた。	4	3	2	1

【感想・今日わかったこと】

2年 () 組 () 番 氏名